



### 【法人の理念・目的】

NPO 法人ホップすてーしょんは、「みんなちがってみんないい」ノーマライゼーション社会を目指して結成された法人です。私たちは、障害のある人も障害のない人も、その違いを認め尊重し合い知恵を出し合う中で、新しい絆を結び地域社会を再生することができると思っています。

### 【支援方針】

- ❖ 療育支援の提供：発達ゆっくりさがあるお子さんやその家族に対し、客観的評価をもとにした支援を行います。一人ひとりの特性を踏まえ、就学前に身につけておきたい認知的な能力や生活自立に結び付く力、人との信頼関係やコミュニケーション能力を育てます。
- ❖ 保護者との協働：療育を通してお子さんの課題や支援方法を保護者と共有し、家庭での養育を円滑にしたり、お子さん理解が深まるよう相談や心理教育的支援を行います。就学という次のライフステージに向けて、お子さんと保護者が安心して移行できるようサポートします。
- ❖ 地域との連携：お子さんたちの発達や育ちは、療育だけで育まれるものではありません。お子さん達が地域でどのように暮らし、またどのように暮らしたいと願っているのかをご家庭だけでなく、保育園・幼稚園、保健師や相談員、医療機関などとも連携を図りながら支援につなげていきます。

### 【営業時間／サービス提供時間／サービス提供形態】

営業時間：月～金 9～18時

(土日祝お休み、夏季休業・年末年始の休業あり)

サービス提供時間：9時半～15時半

サービス提供形態：個別療育 45分、グループ療育 100分

### 【送迎】

療育は、保護者同伴で行います。事業所による送迎はありません。

(駐車場 3台有り)

### 【活動の流れ】例

時間	活動
9:30 (13:30)	登園準備
9:40 (13:40)	あつまり
9:55 (13:55)	親子遊びや感覚運動あそび
10:10 (14:10)	製作、ゲームなど
10:25 (14:25)	おもちゃ遊び、机上課題(自立課題とマンツーマン課題)
10:45 (14:45)	おやつ
11:05 (15:05)	帰りのあつまり・降園準備
11:10 (15:10)	降園

## 【本人支援で大切にしていること】

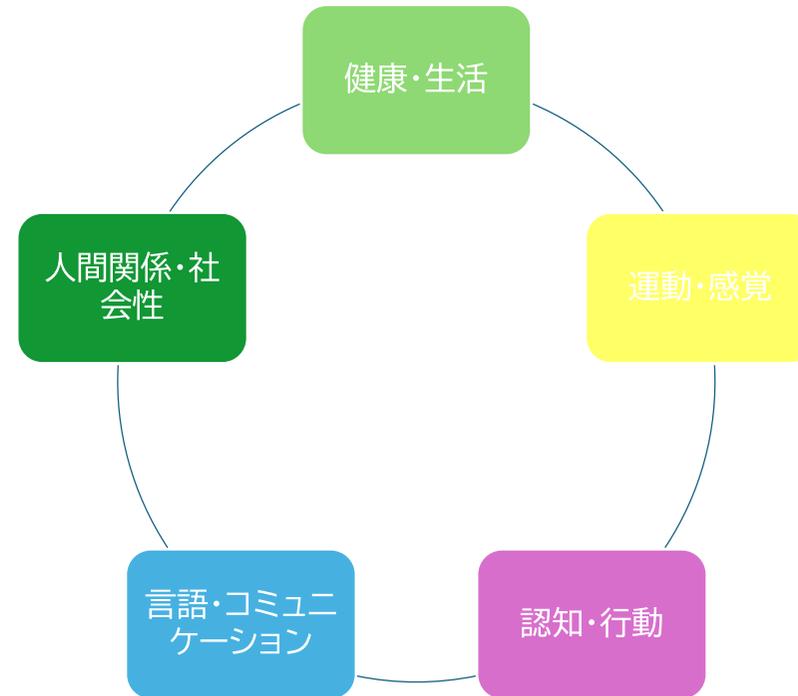
健康状態、生活リズムや生活習慣、身辺自立などを保護者から聴取したり観察したりします。睡眠や食事といった基本的な生活習慣の安定を図り、お子さんの発達や成長に大事な根っこを育てていきます。

また、生活上の困りごとや就学に向けた自立を目指して、様々な角度からの評価をもとに具体的な助言ができるよう努めています。事業所の中でも、お子さん達が自分で登園・降園の準備ができたり、衣服の着脱や排泄が上手くできるよう、ロッカーの配置、動線の作り方、準備物を出すための手掛かり（区別されたカゴや写真などの目印）などを用意しています。

母子関係や身近な大人との愛着や信頼関係という基盤の育ちを高め、人と人とのつながりの中で安心して育ていけるよう取り組みます。人への意識や関係性の作り方、人と一緒に遊びや達成感を共有したりする力、場所や物を共有する力、見立て遊びやごっこ遊びの力などを育てていきます。親子で一緒に通っていただく中で、保護者にも子育ての喜びやお子さんの成長を感じていただけるよう、職員が伴走できる場や存在になればと願いながら取り組んでいます。

コミュニケーションの前に、お子さん自身が置かれている状況がわかったり安心できる場になっていること、身近な大人が信頼できる人になっていることを大事にします。その上で、どんなこと（要求や欲求、拒否など）をどんな風に（言葉、身振り、表情、行動など）伝えているのか、またコミュニケーションの意欲が育っているかといったことを見ます。

お子さんの好きなおやつやおもちゃなど、“ほしい！”という動機づけになるものを使いながら、伝えられた嬉しさやコミュニケーションの楽しさが経験できる場を作っていきます。



伸び伸びと遊んだり活動ができるための体作りをします（サーキット、リトミック、トランポリンやジャングルジム、大型のぶらんこなど）。幼児期にしかできない親子遊びや親子体操にも取り組み、親や他者に合わせたり一緒にできる楽しさが経験できるようにしています。

また、自分の身体や周囲の環境や身体を把握し、人や物、状況に合わせて落ち着いて過ごせるようになるために、7つの感覚が適切に機能できるよう感覚遊びにも積極的に取り組みます（小豆遊び、キネティックサンド、新聞紙遊び、スライム、粘土等）。

周囲の環境や人、物などからどのような情報を得て行動したり過ごしているのかを見ながら、お子さんの発達段階や発達特性に合わせて環境をわかりやすくし、できることやわかることを増やしていきます。お子さんの理解の仕方については、机上課題の取り組み方や行動観察、保護者の聴取からインフォーマルアセスメントをしています。

理解だけでなく、それぞれのお子さんが興味を持っていることやモチベーションが持てるポイントを意識し、前向きにチャレンジしたり意欲的に活動できるようにしています。

#### 【家族支援】

“うちの子って、どんな子？”を保護者と共有していきます。  
ご家庭や地域での様子をお聞きした上で、療育中の様子と合わせて専門的な立場での知見をお話しさせていただいたり、保護者とお子さんについての“なんで？”“どうすれば？”を一緒に考えていきます。  
療育中は保護者も一緒に活動したり、モニターを見ながら職員や他の保護者と学習会などを行っています。  
必要に応じて、個別的な相談や面談、家庭訪問等も行っています。

#### 【主な行事等】

保育園・幼稚園での行事や季節のイベントに合わせて、知識をつけたり模擬体験をするなどして、安心して行事に向かえたり、“わかってできた”につながるよう考慮しています。

#### 【職員の質の向上】

日々の職員間のコミュニケーションの中で、お子さんの支援について話し合っています。  
個別支援計画作成時にはアセスメント会議を行い、支援の振り返りと共に、お子さんと家族にとって必要なことが何かを検討します。  
また、法人の3事業所とは月に1回程度研修・会議を行い、互いの事業所の支援を共有しながら支援スキルの向上を図っています。

#### 【地域支援・地域連携】

保護者のご要望や保育園・幼稚園からのご要望、または状況に応じて保育園・幼稚園訪問、受診同行等をさせていただきます。療育の中だけで支援が完結するのではなく、お子さんやご家族の暮らしがより豊かになるよう様々な機関と連携を図りながら療育を進めていきます。

#### 【移行支援】

小学校という大きなライフステージの変化に向けて、どんな支援が必要かを一緒に考えていきます。就学について、誰とどんなことを相談したらよいのか、持ち物管理や勉強道具（筆箱や鉛筆削り、消しゴム、下敷きなど）の扱い方はどうするのか、登下校や放課後は・・・といった具体的な学校生活をイメージしながら保護者と話をしたり、『筆箱の使い方』や『消しゴムで消す』練習、『宿題を持って帰って持ってくる』練習などをみんなでしてみたりします。お子さん達が少しでも見通しが持てたり安心して新しい環境で過ごしていけるよう取り組んでいます。

作成年月日  
: 2024 (令和6) 年9月1日



特定非営利活動法人ホップすてーしょん

